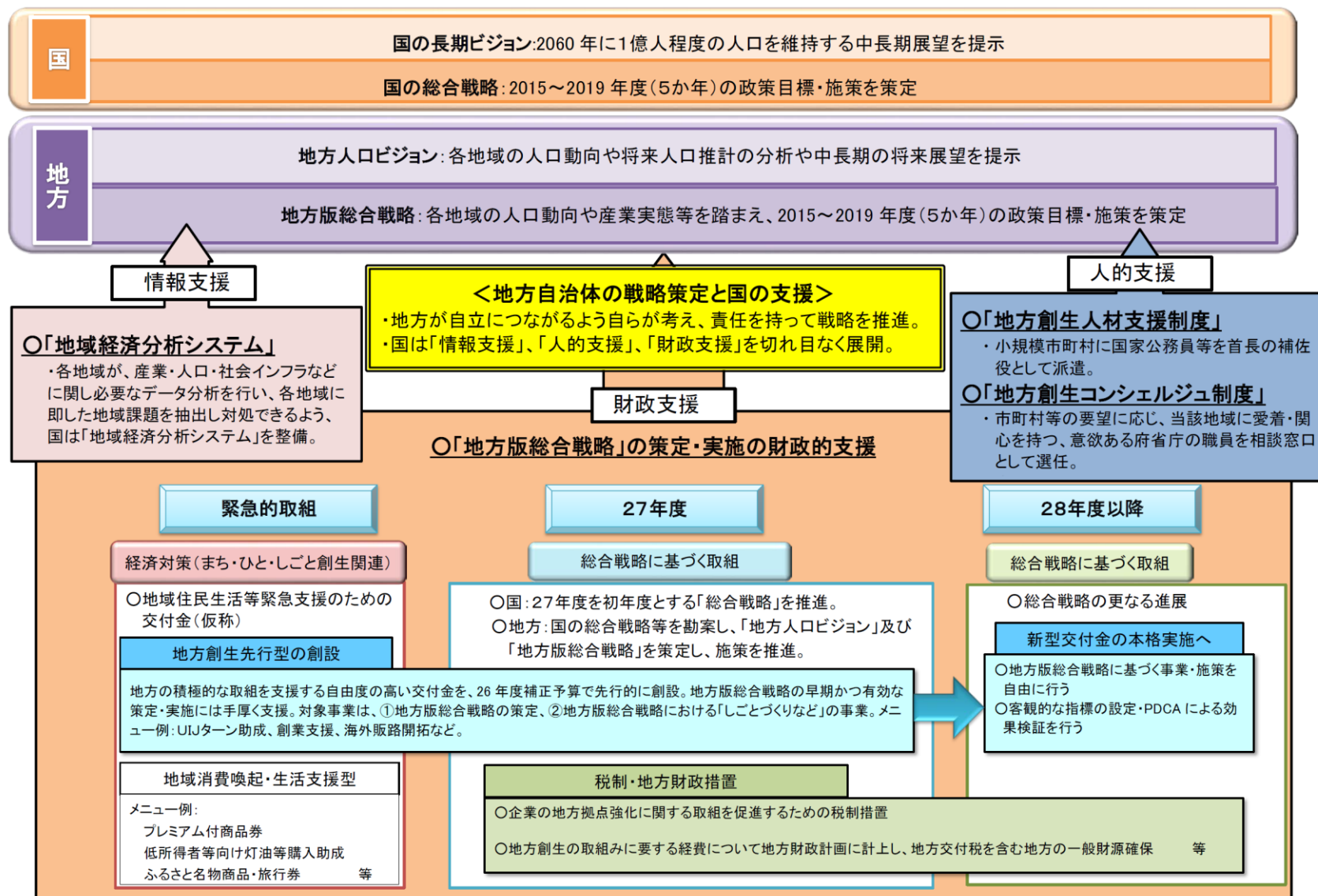
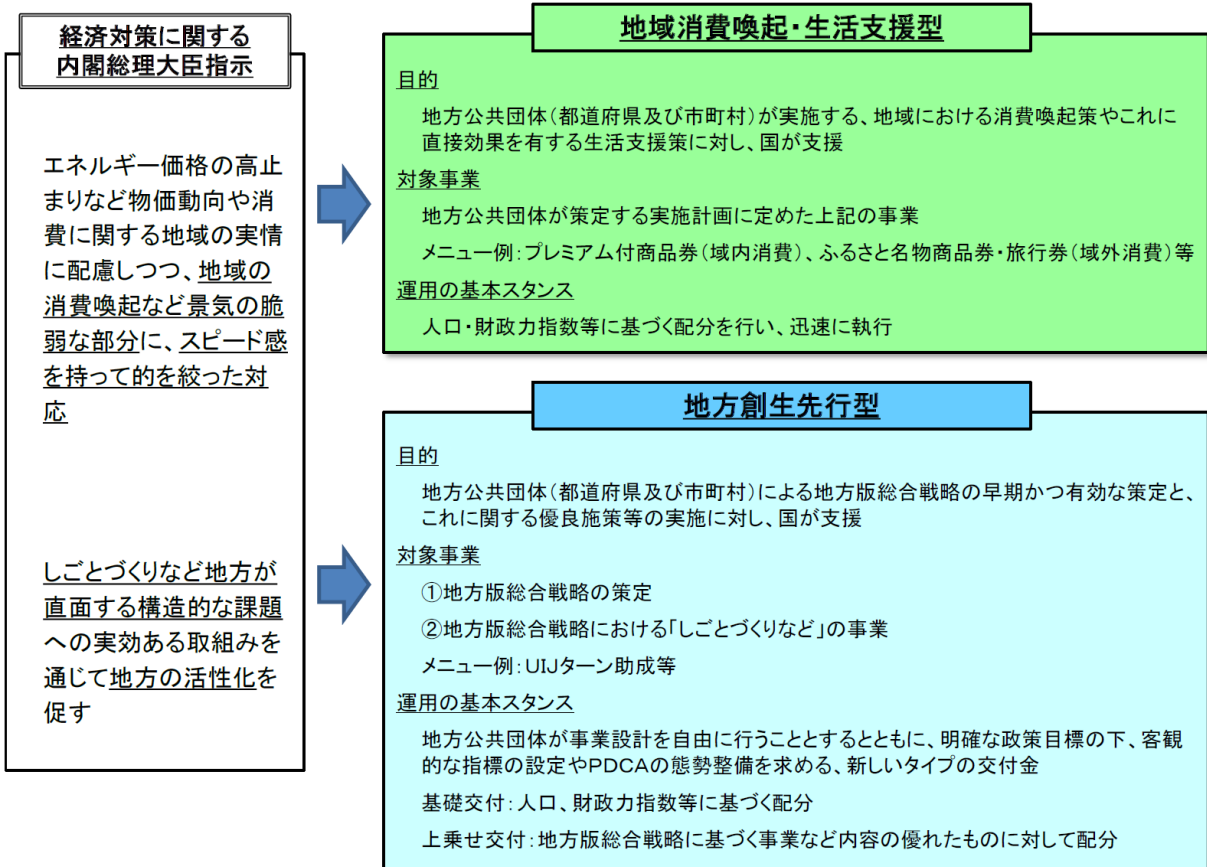


地方への多様な支援と「切れ目」のない施策の展開



※出典：内閣府「まち・ひと・しごと創生会議（第4回）」（平成26年12月26日開催）配付資料から抜粋

地域住民生活等緊急支援のための交付金の概要



交付の考え方

タイプ		交付の考え方
地域消費喚起・生活支援型	2,500億円	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 都道府県及び市町村の配分比 4:6</li> <li>2. プレミアム付商品券(域内消費)及びふるさと名物商品券・旅行券(域外消費)については、一定事業規模を確保できるように地方公共団体に助言・サポート</li> <li>3. 以下の点などを踏まえ、交付               <ol style="list-style-type: none"> <li>① 人口</li> <li>② 財政力指数</li> <li>③ 消費水準等、寒冷地</li> </ol> </li> </ol>
地方創生先行型	基礎交付 1,400億円	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 都道府県及び市町村の配分比 4:6</li> <li>2. 以下の点を踏まえ、交付               <ol style="list-style-type: none"> <li>① 地方版総合戦略策定経費相当分として1都道府県200万円、1市町村1,000万円は確保</li> <li>② 人口を基本としつつ、小規模団体ほど割増</li> <li>③ 財政力指数</li> <li>④ 就業(就業率)、人口流出(純転出者数人口比率)、少子化(年少者人口比率)の状況に配慮(現状の指標が悪い地域に配慮)</li> </ol> </li> </ol>
	上乗せ交付 300億円	以下の点を踏まえ、交付 <ol style="list-style-type: none"> <li>① 政策5原則等からみた事業等の内容(メニュー例への対応を含む)</li> <li>② 地方版総合戦略の策定状況</li> </ol>

※出典：内閣府「まち・ひと・しごと創生総合戦略及び地域住民生活等緊急支援のための交付金に関する説明会」(平成27年1月9日開催) 配付資料から抜粋